

浦 産 土 号

平成 20 年 10 月 10 日

国土交通省道路局長 様

北海道樺戸郡浦臼町長 岸 泰



今後の道路行政についての意見・提案の提出について(回答)

平成20年 9月19日付、国道企第 37号でありましたこのことについて、別紙のとおり提出いたしますので、よろしくお取り計らい願います。

《担 当》

浦臼町 産業建設課 土木係長 馬狩 範一

TEL 0125(68)2113 内線126 FAX 0125(68)2285

今後の道路行政についての意見・提案

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

北海道 浦臼町

三位一体改革に端を発し道州制構想の基で、北海道の道路維持管理が大きく変わろうとしており、北海道総合開発計画で大きく転換を策定中と聞くが、現実的には問題点が多々あると見る。

北海道は日本国土の22%を有するが、人口は僅か4%代である。

日本に残された唯一の食料生産基地であり、資源の宝庫であり、未開の地が多々点在する。

道内の自治体180市町村のうち5万人以下の自治体は、164市町村に上り、財政状況にあっては道をはじめすべてが疲弊している。

この現実の中で、国道の移管維持が検討推進されれば地域格差が拡大する事は明白である。

北海道開発局は、当然継続存続が不可欠であります。

自治体には道路特定財源は絶対必要であり、廃止後にも代わる財源処置が必要である。

○現状

国道275号札的内橋～晩東橋間の道路改良工事が未着手のため、早期着工を望む。

道の駅つるぬま・鶴沼公園付近は、左折・右折車両が多く、交通事故也多発しており、危険箇所となっている。

○課題

工事の早期着工と、札的内橋及び黄臼内橋の車道及び歩道の拡幅を要望したい。

国道拡幅による4車線化を随所設置願いたい。

今後の道路行政についての意見・提案

②－２ 地域の目指すべき将来像

北海道 浦臼町

○道路網の整備を、現在以上に効率的に進めることにより、地域の利便性を高め、かつ、都市機能との地方格差を補い
地域交通の形成につとめたい。